中央区教育広報紙

かがやき

［編集］
中央区教育委員会
〒104-8404 東京都中央区築地1-1-1
TEL.03-3546-5503

No. 187 令和7年（2025年）1月11日発行

中央区教育委員会ホームページ
https://www.city.chuo.lg.jp/kosodate/gakkoukyouiku/kyouikuiinkai/index.html

中学生海外体験学習

Let's share our cultures, build a bridge of friendship.

7月25日（木）から8月4日（日）までの11日間、区立中学校5校の代表生徒（第2学年）16名が本区の姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市を訪れました。中学生海外体験学習は今年で32回目を数え、今回の派遣でこれまでに参加した生徒数が1000人に達しました。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、令和2年度から一時派遣を休止していましたが、今回5年振りにサザランド市を訪問することができました。

今年の派遣団は、「～Let's share our cultures.～ つなげよう友情の架け橋を！」をスローガンに掲げ、派遣のおよそ2カ月前からオーストラリアの文化や歴史・生活習慣などに関する学習を重ねるとともに、英語によるコミュニケーションの習得に励んでいました。その甲斐あって、8日間のホームステイや現地中学校での体験入学を通じて、ホストファミリーや現地の生徒と積極的に交流し、親睦を深めることができました。

以下、主な現地体験を紹介します。

1 小学校での交流活動

派遣団は日本のアンバサダーとして、現地の小学生に日本の名曲「ふるさと」の合唱を披露したほか、折り紙やけん玉などの伝統的な遊びを通して、交流を図りました。派遣生徒は現地の小学生に、ジェスチャーを交えて、兜の折り方を教えるなど、コミュニケーションをとることができた喜びを感じていました。

2 環境保護活動

環境保護活動では、海岸での植樹や外来植物の除去といった活動に取り組み、オーストラリアの自然保護に対する思いを実感したことに加え、除去作業の疲労を感じつつも、達成感にあふれている表情が見られました。

3 アボリジナルの学習

先住民についての学習活動では、アボリジナルの方がゲストティーチャーとしてお越しになり、派遣生徒は真剣なまなざしで先住民の文化や昔の狩猟道具などに関する話を聞き、オーストラリア先住民の生活様式や文化のほか人権について考えを深めていました。

ホストファミリーとのお別れ式では、家族の一員として迎えいれてくれたことに感謝し、8日間という短い期間のホームステイであったものの、今後も交流を続けていきたいという強い意志が感じられ、心温まる和やかなお別れとなりました。

帰国後は、事後研修会を実施し、各生徒が現地で学んできたことを派遣生徒同士で共有しました。2学期以降、派遣生徒は自校での海外体験学習の成果発表などを通じて、この学習で学んだことを全校生徒へ広める活動に取り組んでいます。

今後、派遣生徒がこの学習で学んだ知識や経験などを生かして、各学校で中心となって活動し、将来国際社会で活躍するリーダーとなることを期待しています。

Welcome to Chuo City ～サザランド市の生徒を受け入れました～

9月26日（木）から10月6日（日）までの11日間、中央区の姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市の生徒11名が本区を訪れ、ホームステイや区立中学校への体験入学などを行いました。この訪問は今回で29回目となり、これまでに今回の参加者を含め417人の生徒が中央区を訪れています。

区立中学校への体験入学では、サザランド市の生徒がホストファミリーの生徒（ホストスチューデント）と一緒に登校し、授業や部活動に参加しました。各中学校では、琴や茶道、浴衣の着付けといった特別な授業を実施し、日本文化を体験できる機会を設けました。サザランド市の生徒は、初めのうちは慣れないことも多く、戸惑う様子もありましたが、この体験を通じて日本文化や日本の学校生活へ興味・関心を深め、楽しむことができたようです。

また、国際教育パイロット校である常盤小学校を訪れ、4年生の子どもたちとの交流活動を行いました。英語で出されたヒントをもとにパラリンピックの競技を当てるクイズ、日本の観光地を題材とした観光地かるた、羽根つきやけん玉などの日本の伝統的な遊びなどを通じて交流を深めました。けん玉の技が成功した時には、サザランド市の生徒と小学生が一緒に笑顔でガッツポーズをして、嬉しそうな表情をしていました。

ホストファミリーとのお別れ式では、別れを惜しみ、涙ぐむ生徒の姿があちらこちらでみられました。サザランド市の生徒、この訪問に関わった中央区の子どもたちが、今回の交流をきっかけに、外国の人々と互いに文化や習慣を理解しあうことの大切さに気づき、これからも国際感覚を磨いていって欲しいと思います。

晴海西中学校での体験

教育委員コラムリレー

他の人の個性を尊重する力を育む

平成28年12月1日から、教育委員を務められてきた渥美哲夫委員。
2期の任期を満了され、教育委員を「卒業」されることとなりました。
これまでの思い出や子どもたちへのメッセージを伺いました。

渥美（あつみ） 哲夫（てつお） 委員

2期の8年間を振り返っていかがですか？

8年間というと幼稚園児が小学校を卒業するほど長い期間ですが、あっという間に過ぎた印象です。コロナ禍には、一斉休校という前代未聞の出来事もありましたが、その時々でできる限りのことをしてきました。

教育委員になって最初に考えたのは、教育委員とは何かということです。行政委員として教育に関わる区の施策や規則の審議と実践するための行動をすることが役割だと考え、務めてきました。さらに、学校の設置や改築、4年に一度の教科書採択、10年に一度の学習指導要領改訂への対応など、さまざまな課題に取り組んできました。

特に重要だと感じたのは定例会後の研修会です。議案審議のための知識を深め、将来への準備を重ねていく場として非常に重要でした。一般の方々にはあまり知られていない活動ですが、教育行政を支える大切な取り組みだと実感しています。

また実際に教育が行われている現場は教育委員会ではなく、学校です。そこで時間を見つけて足を運ぶようにしていました。

中央区の教育現場はどのような印象でしたか？

教育は学校だけでなく、家庭と地域の3つが一体となって行われるものだと考えています。中央区は下町の伝統が残る地域で、お祭りなどの行事を通じて、異なる年齢の子どもたちや大人と交流できる環境があります。学校だけでは得られない貴重な教育の機会です。

活動を通して特に感じたのは、中央区の先生方の熱意です。例えば、学校に訪問した時に、すれ違う子どもたちがきちんとあいさつをしてくれたのが心に残っています。とても素晴らしいことですし、先生方が丁寧に指導されたからこそだと思います。

一方で、先生方の忙しさは大きな課題です。中央区に限らない問題ですが、授業や子どもたちに向き合うことに専念できる環境を整えていく必要があります。子どもたちだけではなく先生も「明日も学校が楽しみ」と思える環境が理想です。そのためには、補助の職員を置くなど公的な支援が必要です。中央区であれば実現できると期待しています。

特に印象に残っている活動はありますか？

学校への訪問です。何度か学校を訪問するうちに校長先生をはじめとする先生方と打ち解け、教育への信念や悩みなど率直なお話をうかがえたのは、非常に貴重な経験です。また、子どもたちの普段の過ごし方も知ることができました。勉強だけではなく、学芸会や運動会など、自分の好きなことや得意なことで活躍している子どもたちを見て、心を動かされました。

特に印象深かったのは、コロナ禍での経験です。学校が休校して対面の授業ができないなか、タブレットの導入が急速に進みました。画像を拡大して細かいところまで見られるなどメリットが大きい反面、紙に書いて考えることの大切さも感じています。アナログとデジタル、どちらも大切にしながら、バランスの取れた教育を目指していく必要があると考えています。

子どもたちや保護者・先生方にメッセージをお願いいたします。

子どもたちには、「十人十色」という言葉のように、一人ひとりが違って当たり前という理解を持ってほしいと思います。なかには学校生活に上手く適応できない子もいます。だからといって排除するのではなく、どうしたら一緒に勉強したり遊んだりできるのかを考えていってほしいですね。

社会は多様性の集まりです。将来社会に出たときのために、学校では勉強だけではなく、自分の意見を述べる経験を積むとともに、周りの意見にも耳を傾ける姿勢と優しい心を育んでほしいと思います。

最後に、子どもたちが「明日も学校に行きたい」と思える環境づくりが大切です。教育委員会・学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えていっていただければと思います。

【プロフィール】
中央区入船生まれ。平成13年5月から保護司として犯罪や非行を犯した若者などの更生・指導を行ない、中央区保護司会の会長を務めた。平成21年4月から人権擁護委員を、令和5年6月から公益社団法人中央区シルバー人材センター会長を務めている。平成28年12月から中央区教育委員に就任。

教育委員の就任

教育委員会委員の就任のご挨拶・抱負

〔教育委員〕 北澤 武

この度、教育委員を拝命しました北澤武と申します。

世の中は急速な技術革新に伴い、将来の変化を予測することが難しいＡＩ時代に突入しています。このような時代において、情報通信技術を効果的に活用し、多様な人々と適切に関わりながら、自ら問題を発見・解決する力を子ども達に身に付けることが、今の教育に求められています。

そこで教育環境のさらなる充実を目指し、保護者の皆様、先生方、地域の皆様のお気持ちやご期待を真摯に受け止めながら、中央区の教育の発展に向けて、全力で取り組んで参ります。何卒、よろしくお願い申し上げます。

中央区ＰＴＡ連合会成人教育委員会が開催されました

10月18日(金)、中央区ＰＴＡ連合会が成人教育委員会を開催し、多くのＰＴＡ会員の方々が参加されました。

今回は、公立学校スクールカウンセラーの星加志苑（ほしかしおん）さんを講師に迎えて、「スクールカウンセラーが教える　お家で使えるカウンセリング講座～自分の心に気づき、子どもに寄り添うために～」をテーマとした講演会を、区役所8階大会議室で開催しました。

講演会では、子どもの行動・言動の裏側にある感情、子どもの気持ちを受け止め、寄り添うための自らの考え方の分析などをご講演いただき、参加者は自分の感情を言語化する個人ワークなども交えながら、自分の心と子どもの感情についての理解を深めました。

最後の質疑応答の場面でも、参加者から「未就学児から中学生まで、子育てをするうえでどの家庭も感じている難しさだと思うので、とても良かった」、「もっと早い時期に受講できていればよかった」、「親の感情にフォーカスしてくれる内容があってよかった。親が自分の心を整理しておくことが、子どもの気持ちを受け止めるのに重要だと感じた」などの意見があがり、大変有意義な講演会となりました。

教育委員会の主な活動状況
(令和６年11月11日～令和7年1月10日)

● 第11回定例会および研修会	11月13日(水)	
● 令和５年度・６年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校研究発表会	11月15日(金)	有馬小学校
● 豊海幼稚園研究発表会	11月28日(木)	豊海幼稚園
● 中学校連合音楽会	11月29日(金)	銀座ブロッサム
● 小学校教育会研究発表会	12月4日(水)	月島第三小学校
● 晴海西小学校・晴海西中学校落成及び開校記念式典	12月7日(土)	晴海西小学校・晴海西中学校
● 第12回定例会および研修会	12月11日(水)	
● 第２回いじめ問題対策委員会	12月18日(水)	教育センター
● 仕事始め式	1月6日(月)	

中央区教育広報紙 かがやき
令和7年(2025年)1月11日発行　No.187　［編集］ 中央区教育委員会　〒104-8404 東京都中央区築地1-1-1　☎(3546)5503
中央区教育委員会ホームページ https://www.city.chuo.lg.jp/kosodate/gakkoukyouiku/kyouikuiinkai/index.html 中央区教育委員会 で検索！または右の二次元コードよりアクセス
刊行物登録番号　6－072